

なないろ通信

No. 1

愛知県一宮市給食センター跡地利用ワークショップ*6 編

・・・育くみ隊活動は公共施設づくりのコーディネートから人と人との縁結びのコーディネートまで、まるで虹のように、いくつもの色がまざりあう多様な活動です。それに関わるスタッフもまた、年齢、職業、特技、性格など様々。この「なないろ通信」ではそんな育くみ隊に関わる人たちがそれぞれの視点で、育くみ隊活動を紹介したり、最近身の周りで起こった「エンガワ」な出来事、普段考えているおかしなことなどを紹介します。

NPO法人まちの縁側育くみ隊会員のみなさん、こんにちは。事務局スタッフの大久保です。今月から育くみ隊の多様な活動のあらましと魅力、現状をお伝えしてゆきたいと思い、「なないろ通信」お届け致します。筆者も大久保のみでなく、他のスタッフも随時参加しますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

さて、去る1月18日(日)、前年度の基本構想に引き続き、昨年8月から一宮市民の夢と想いを乗せて続けてまいりました一宮給食センター跡地基本設計ワークショップ(KセンターWS)が好評のうちに最終回を迎えました。

(KセンターWS)とは、愛知県一宮市の大和地区にある給食センター跡地に市が計画している〈生涯学習センター的な施設〉のことで、従来の公共施設建設とは異なり、市民参加のワークショップという新しい手法で建設計画が進められている施設のことです。育くみ隊はこの公共施設づくりにおける行政と市民とのつなぎ役として、「あんなことがしてみたい」や「こんな場所だったらいいね」という、参加者ひとりひとりのつぶやきを大切に、誰もがふらりと立ち寄れる、まちの縁側のようなやわらかい公共施設づくりをめざしてワークショップを進めてまいりました。

公共施設を基本構想も基本設計もNPOが媒介しながら市民参加で行うことは全国的にみても類例が見あたらないようで、育くみ隊の力量が問われるとともに、日本のNPOの今後を見据える意味においてもかかる重圧は相当なものでした。しかし、そのようなさか重苦しい空気の中におかれながらも、育くみ隊はフロンティア・スピリッツを忘れず、先進例の千葉県四街道市の福祉センター設計ワークショップの実例を参考にしながら、若者たちが中心になり人々のつぶやきを、ふるまいと空間との関連性の中にイラストによって表した『つぶやき事典』という斬新なワークショップ・アイテムを生みだしたり、専門家以外には解りづらい設計図面をやわらかな言葉とイラストを交えながら提示したり、図面で提示した建物の全体像を解りやすく伝えるため精巧で精緻な建築模型をこしらえたり、大胆かつ繊細に一宮市民の夢を紡いで行ったのでした。

そのような育くみ隊の真摯な姿勢に、ワークショップ参加者は一様に好意的な評価をして下さり、提案内容について大方の共感をもって合意しました。行政の担当の方たちも尾西市と木曾川町との合併を控えて慎重に「個人的な意見」と前置きしながらも、1年~1年半の間が空くものの、ロタに次のステップへの希望と期待を育くみ隊に寄せて下さっていました。今後、合併に伴う計画条件の変化や、この段階で提案した空間内容の使い方の面からの詳細検討、館全体や各場所のネーミングやサイン計画、管理運営のしくみと担い手づくりなど、実施設計段階でさらにふみこんだ市民参加の継続発展を望む声に参加者の間からあがりました。これからどのように展開をしてゆくの、注意深く見守り続けたいと思います。<大久保康雄/理事>

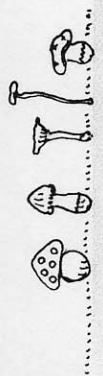


□■□お問い合わせ□■□

- *1 川崎市総合企画局政策部
TEL 042-200-3708
- *2 世界劇場会議名古屋事務局
TEL 052-934-1452
- *3 江別市建設部まちづくり推進室
TEL 011-381-1082
- *4 三鷹市市民協働センター
TEL 0422-46-0048
- *5 若竹まちづくり研究所
TEL 088-834-0888
- *6 一宮市企画政策課
TEL 0586-73-9111

□■□3月の育くみ隊の主な活動情報□■□

- 1 3月の縁側ワークショップ
3月7日(日) 13:00~
豊田佐助郎 ※詳しくは別紙をご覧ください。
- 2 「住さい・環境・まちづくり」ワークショップ「暮らしのデザイン」参加
3月20日(土)、21日(日)
10:00~17:00
吹上ホール 第1ファッションセンター
- 3 密着三木市広場活用ワークショップ(予定)
3月28日(日)
時間未定
宮前三八市広場



【ウラ・コラ】

先日の緊急理事会で突然NPOの事務局長になってしまった。バイトをやめ、毎日MOMOのPCの前に座り、一日の生活は今までとあまりかわらない。2週間たった今日、しこしこ消化していく事務仕事にやっとなれてきた。一宮でのワークショップでてんでこまいったこれまで、それを支えてきた事務局スタッフのたいへんさがよく分かった。何がたいへんか?夜のMOMOしか知らない男連中には想像できないだろうが、毎日MOMOには結構お客さんが来る。約1年前にボクラが塗ったMOMOの壁には、今、山吹小学校の子どもたちの絵が掛かっている。夕方になると子どもたちや孫の絵を見にきた老夫婦がやってきてお茶を飲みながら話している。土屋さん、石川さん、荒木さんたちはそんなお客さんのお相手や電話の対応にあわただしく過ごしている。そんな中で新規会員登録さんの登録や会計管理などなどヤマのような作業をやってくれていた。・・・とても落ち着いて作業なんて進められない。でもやっとなら事務局長セットがMOMOのお邪魔をしなくてすむようになる。MOMOの大家さんである可知さんのご好意で離れの6帖ほどの物置を育くみ隊事務所として貸して頂けることになった。こうしてMOMOとNPOの同棲生活は続けることになった。ということで、現在『育くみ隊事務局引越し改装計画』進行中・・・。長くなったが何が言いたかったかということ、引越し改装ボランティア募集中!<渡辺文紀/理事>

取材情報 投稿 編集 スタッフ募集!!

こんないい場所、おもしろいネタあります。行ってきました。など取り上げてほしい情報・話題をどどんお寄せください。また、一緒に編集やってみたいという方もご連絡ください。お待ちしております。

【編集後記】

タケちゃん事務局長になり、育くみ隊事務局作業から解放された私は、鳥インフルエンザでちょっと話題の国、ベトナムへ行ってきました!!今のところ健康です。ベトナムは、蒸し暑くて、バイクがうじゃうじゃ、しかし、びゅんびゅん走って、ただそこにいるだけでもエネルギーを消費する熱い国でした。今、寒い国とにかく南国へ!!と思っリゾート気分に出発した私と友達は到着してからしばらくは、環境の変化に適應できず、ぼーっとしながら大変でした。でも、毎日、生春巻きを食べ、インジとミューズでうがい手洗いをし、早寝早起きで観光(まち歩き)・雑貨屋さん巡りをして、暑いのでしもやけも治って、お土産は福岡空港で買って帰ってきました。そして今、この「育くみ隊通信エンガワ」の編集作業をやっています。
<藤原貴代/正会員>

『エンガワNo. 1<2月号>』平成16年2月12日発行

NPO法人

まちの縁側育くみ隊

代表理事 延藤安弘

編集 大久保・藤原・渡辺

名古屋市東区代官町1-5まちの縁側MOMO内

Tel/Fax: 052-936-1717

E-mail: info@engawa.ws

